

「第7回オクシズ森林の市」に出展しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 静岡水源林整備事務所

令和2年1月26日（日）に静岡市林業センター及び千代みどりの森において開催された、「第7回オクシズ森林の市」（共催：オクシズ材活用協議会、静岡市、協力：静岡県中部流域林業活性化センターほか）に静岡水源林整備事務所も参加しました。

オクシズ森林の市は、森林・木材資源が豊富な「奥静岡＝オクシズ」の「木材＝オクシズ材」の地産地消を目指し、地元住民に理解を深めてもらう体験型イベントとして平成26年から毎年開催されており、当事務所も第3回から続けて参加しています。

今年は、オクシズ材を使った木工体験、林業の仕事（薪割り・枝払い・草刈り）体験などのワークショップやオクシズならではのおいしい食べ物や雑貨販売などのブースも多数出展し、楽しみながら学び「森林の恵み」を体感するよい機会となりました。

「水源林造成事業紹介」と題した当事務所のブースでは、水源林造成事業を紹介したパネルの展示やパンフレットの配布により水源林の果たす役割や森林整備の重要性等をPRするとともに、松ぼっくりを使った工作をとおして、子供から大人まで多くの地域の方々との交流を深めることができました。約200人の来場者からは、「森林の大切さを知ることができた。」「工作がおもしろかった。」などの感想が聞かれ、森林整備センター職員も有意義な時間を過ごすことができました。

当事務所は、今後もこのようなイベント等に参加して、地域の皆様に水源林造成事業への関心と理解を一層深めていただけるよう取り組んでまいります。



水源林造成事業をPR



松ぼっくり工作を楽しむ様子